

小平産業株式会社 殿

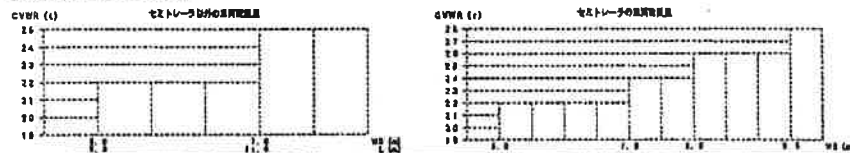
改造等概要説明書(改造自動車等審査結果通知書)

- (指示事項) 1. 本改造車両は、24国自審 第440号、新型自動車番号 新06992号、類別2001の車両に限る。
 2. 本車両は、車台番号KFL32-1256の1台限りとする。
 3. 検査の際には、改造部分詳細図を添付すること。
 4. 車両は、車両総重量(分割可能貨物) (004) について保安基準の積和を要す。
 5. けん引自動車は、いすゞQKG-EXY52A (第5種重量 11200 kg) 類別2041で検討した。

主要諸元比較表 標準車両の類別等を記載する。(2001)

項目	標準車	改造車	基準・限度	項目	標準車	改造車	基準・限度
車名	コダイラ	コダイラ		乗車定員人	—	—	—
型式	KFL32	KFL32改		最大積載量kg	28200	25100	—
自動車の種別	普通	普通		前前軸重	9500	9300	≦10t (11980 kg)
用途	貨物	貨物		前後軸重	8800	8900	≦10t (10180 kg)
車体の形状	セミトレー	タンクセミトレー		車両重量kg	—	—	—
燃料の種類	—	—		前軸重	8800	8895	≦10t (10180 kg)
原動機型式	—	—		後軸重	8800	8895	≦10t (10180 kg)
最大積載量(又は積載率)kg	—	—		計	35900	35990	≦20t≦28t (39480 kg)
長さm	12.515 (11.935)	9.495 (8.785)	≦(12m)	最大安定傾斜角度	左 49 ※1 右 49 ※1	44 ※2 44 ※2	≧25 ※3 その値≧30°
幅m	2.490	2.490	≦2.5m	前軸荷	—	—	—
高さm	2.275	3.550	≦3.8m	前輪	11R22.5-14PR	11R22.5-14PR	(10000 kg)
軸距m	6.910+1.300 +1.300 =9.510	4.700+1.300 +1.300 =7.300		後軸荷	11R22.5-14PR	11R22.5-14PR	(10000 kg)
軸距m	—	—		後輪	—	—	—
前軸距m	1.845	1.845		前輪荷重割合	—	—	≧18,20%
室内又は 併台の内 側の寸法	長さm 18.180 幅m 2.440 高さm —	長さm 8.500 幅m 2.200 高さm 0.870		リヤオーバーハングm	2.425	1.300	≦1)11/80/2L (3.650 m)
車両重量kg	前前軸重 1380 前後軸重 2100 後前軸重 2110 後後軸重 2110 計 7700	前前軸重 2400 前後軸重 2830 後前軸重 2830 後後軸重 2830 計 10890		併台オフセットm	2.365	1.650	—
				最小回転半径m	10.2 ※1	8.4 ※2	≦12m

車両総重量・軸重等の基準



前後軸距	1.8m未満	1.8m以上	1.3m以上1.8未満(1の車軸にかかる荷重が9.5t以下である場合)
積載軸重	kg ≦ 18t	kg ≦ 20t	18150 kg ≦ 19t

耐力強度等検討書

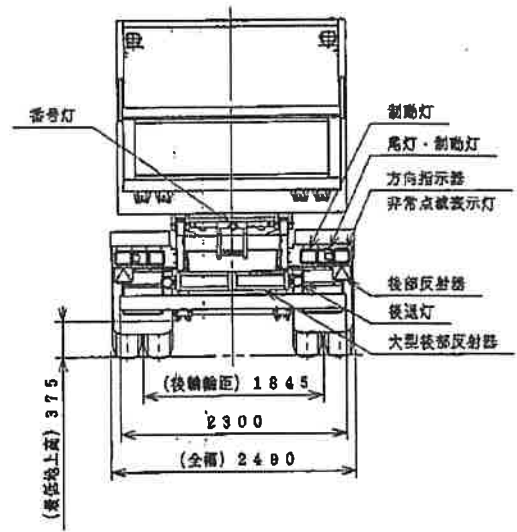
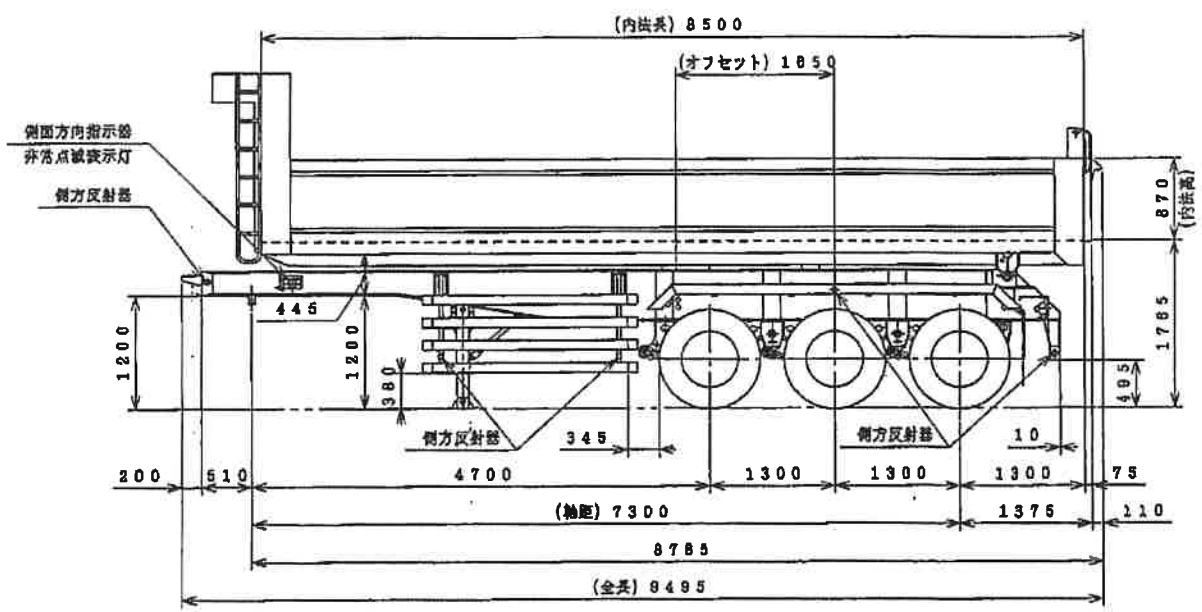
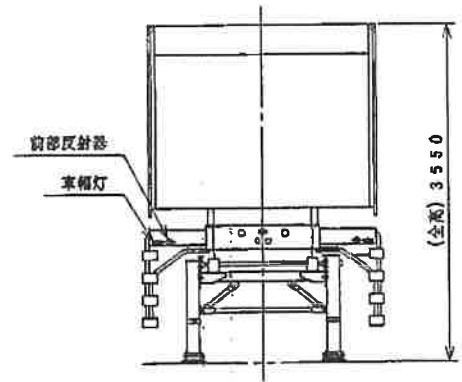
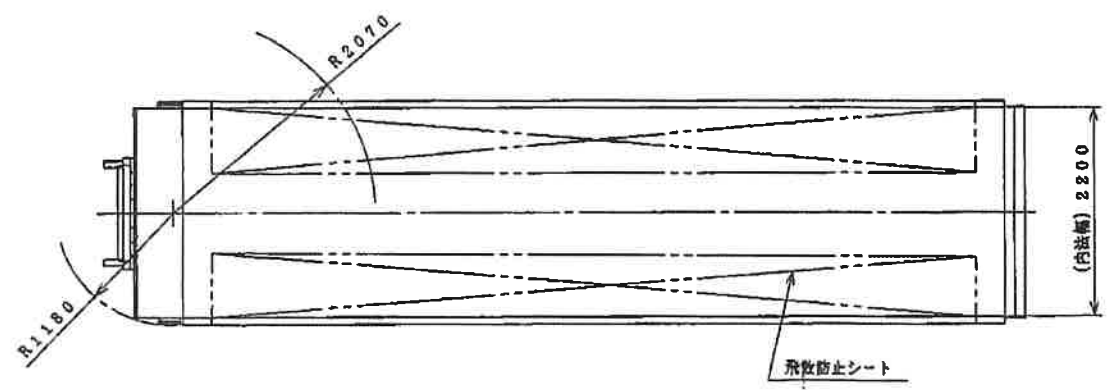
制動能力	踏力 — N 60 km/h 36.8m	車軸強度	σ_p/σ — / — = — ≧ 1.6
	変気圧 700 kPa	操縦装置強度	σ_p/σ — / — = — ≧ 1.3
最高速度	N ₁ /N ₂ — / — = — ≧ 1.3	緩衝装置強度	σ_p/σ 1520 / 947.05 = 1.604 ≧ 1.6
車軸強度	σ_p/σ — / — = — ≧ 1.6	制動装置強度	σ_p/σ 1370 / 947.05 = 1.44 ≧ 1.3
	σ_p/σ 490 / 247.58 = 1.97 ≧ 1.6	連結装置強度	σ_p/σ — / — = — ≧ 1.6
	σ_p/σ 325 / 247.58 = 1.31 ≧ 1.3	電気装置強度	σ_p/σ — / — = — ≧ 1.6

- 注1. 耐力検討値は、該当しないものは—、省略したものは×を記入すること。
 注2. 指示事項欄又は耐力強度等検討書欄は、必要に応じて指示欄又は項目を追加・削除することができる。
 注3. 現車審査の際は、通知書及び改造部分詳細図等の添付資料を提示すること。(9.(1)関係)
 注4. ※1はいすゞPDG-EXD52EB、※2はいすゞQKG-EXY52Aとの基準値を示す。

改造等の概要

目的	本車両は、コダイラKFL32型を基本に、分割可能貨物基準内(あおり型、固縛を前提にしないもの)ダンプセミトレーラとして新たに製作されるものです。 尚、架装にあたり下記の改造を実施します。
車種及び車体	軸距間において 2.210m短縮し、軸距を 6.910m+1.300m+1.300m=9.510m から 4.700m+1.300m+1.300m=7.300mに変更します。 フロントオーバーハング 0.425mを 0.505mに変更します。 リヤオーバーハング 2.365mを 1.050mに変更します。
原動機	
動力伝達装置	
走行装置	
操縦装置	
制動装置	
緩衝装置	コダイラKFL32型セミトレーラ(24国自審 第440号、新型自動車番号 新06992号、類別2001)のリーフ・スプリング板厚14mmから、アンチコASF280型セミトレーラ(24国自審 第440号、新型自動車番号 新16745号、類別2001)のリーフ・スプリング板厚13mmに変更します。
連結装置	
燃料装置	
電気装置	

- 注1: 変更のない事項については、斜線を記入又は網掛けを施すこと。
 注2: 届出者は、自動車の点検及び整備に関する情報の提供並びにリコール届出に関する義務があります。
 なお、リコール届出に関しては、その実施について道路運送車両法(昭和26年6月1日法律第185号)に基づく勧告、命令を受ける場合があります。(第57条の2、第63条の2、第63条の3関係)



コダイラ KFL32改 ダンプセミトレーラ外観四面図

型式:KFL32改
車体番号:KFL32-1256

重心高	:	1.305 m
主制動能力	:	238730 N
エアタンク容量	:	144 L
エア配管容量	:	3 L
エアチャイム容量	:	2.4 L
方向指示器ワット数	:	50 W